

授業科目	口腔リハビリテーション学（インプラント再生補綴学）		
区分・単位	講義・演習・実習 9単位	関連分野等	ノーマライゼーション・ストレス制御 歯学分野，口腔保健学分野
年次・期別	1年次～4年次	曜日・時限	月曜日～金曜日
教室	保存科・補綴科診療室，インプラント再 生補綴学分野研究室，総合診断室	電話番号	086-235-6680（窪木拓男）
担当教員	【研究科】教授：窪木拓男 准教授：松香芳三 助教：水口 一 助教：縄稚久美子 助教：木村 彩 【病院】講師：前川賢治 助教：園山 亘 助教：藤澤拓生		
一般目標	口腔リハビリテーション学に関わる広い学識と高度な専門技能を取得し，口腔リハビリテーション 認定医としての素養を養う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔リハビリテーションに必要な解剖学，生理学，薬理学，臨床医学，栄養学を説明できる 2. 口腔リハビリテーションの概念を説明できる 3. 口腔リハビリテーションの臨床成績を説明できる 4. 咀嚼機能回復の必要性が判断でき，実践できる 5. 栄養摂取状況の評価，摂食嚥下機能の評価ができる 6. 口腔ケアの方法と必要性が判断でき，実践できる 7. 口腔リハビリテーションによる治療効果を判定できる 8. メインテナンスの重要性を理解し，実践できる 		
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> 1) 口腔リハビリテーション学講義（講義）：窪木，松香，縄稚 定期的に分野内で開催される口腔リハビリテーションに関する講義を受講し，その概念ならびに治療の 実際を学習する。 2) 口腔リハビリテーション，口腔ケアによる患者治療（臨床実習）：縄稚，木村 口腔リハビリテーションの臨床現場に立ち会い，摂食嚥下障害の検査からリハビリテーション，その評 価を行う。また，栄養サポートチームに参加し，栄養スクリーニングとアセスメントから病棟患者に対す る歯科の役割を把握し，その知識，技術を日々の臨床に取り入れる。 3) 症例検討会（演習）：全教員 各週で開催される症例検討会に参加し，順次回ってくる順番に従い，各自の治療内容を過去のエビデ ンスと対比させ，論理的・科学的に報告する。また，他者の発表では，治療法に関して議論を展開する。 4) 論文抄読会（演習）：全教員 論文抄読会では，口腔リハビリテーション関連の最新の論文を選択し，その内容を発表する。その論文 に関し十分に吟味し，議論を展開することで，本領域の知識の習得に加え，論理的思考と議論展開の基礎 を体得する。 5) 各種セミナー参加（演習，講義）：関連教員 口腔リハビリテーション関連のセミナーや症例検討会に参加し，研究，臨床の最先端の知識ならびに議 論展開を学ぶ。ここではあらゆる知識を得るために，他教室主催のものや学外のものにも参加する。 6) 学会発表・参加等（演習，講義）：学会参加の研究担当教員 日本顎頭蓋機能学会を含む口腔リハビリテーション関連学会での少なくとも年1回の発表と参加により， その時点ならびに将来的な本領域の臨床面，研究面での徴候を把握する。また，日本顎頭蓋機能学会の認 定医（5年間）取得のために，学術大会参加，専門医研修セミナーに参加し，知識を深める。また，臨床症 例報告ができるように準備しておく。 		
テキスト・ 参考書等	<p>嚥下障害ポケットマニュアル（第2版）医歯薬出版株式会社</p> <p>看護で役立つ口腔乾燥と口腔ケア 医歯薬出版株式会社</p> <p>最新 口腔ケア 照林社</p> <p>他，専門書から論文まで多岐にわたるため，その都度指示する。</p>		
成績評価基準 成績評価方法	2週間に1回，教授を交え，研究，臨床経過を報告し議論を展開する。その内容，日ごろの研究な らびに臨床姿勢，セミナーに対する姿勢などから総合的に判断する。		
研究活動との 関連	研究室では口腔リハビリテーション学に関する研究（高齢者における摂食・嚥下機能評価，口腔内 QOL と全身 QOL の比較検討など）・臨床を行っており，その延長戦上にこの授業科目が存在して		

	いる.
基礎実習	適宜, 摂食嚥下障害の検査からリハビリテーションの相互実習を行う
臨床実習	口腔リハビリテーションの臨床現場に立ち会い, 摂食嚥下障害の検査からリハビリテーション, その評価を行う. また, 毎週水曜日 14 時への栄養サポートチームミーティングに参加し, 栄養スクリーニングとアセスメントから病棟患者に対する歯科の役割を把握し, その知識, 技術を日々の臨床に取り入れる.
症例検討会	症例検討会は, 毎月第 4 木曜日に行う.
講義日程	<p>毎月第 4 木曜日 18:00~19:00, インプラント再生補綴学分野医局にてテキストの輪読会を行う. その他現時点の講義予定を以下に示す. 変更になる場合には, 登録大学院生に事前に通知する.</p> <p>: 窪木, 縄稚</p> <p>輪読会日程 (2009/07/23, 05/28, 06/25, 07/23, 08/27, 09/24, 10/22, 11/26, 12/24, 2010/01/28, 02/25, 03/25)</p> <p>2009/05/19: 講義「運動障害性咀嚼障害」菊谷 武先生</p> <p>その他, 特殊歯科総合治療部第一総合診療室主催の以下カンファレンス出席も奨励する</p> <p>Gulp Meeting (症例検討会)</p> <p>日時: 第2, 4, 5木曜日, 19:00~</p> <p>場所: カンファレンスルーム (岡山大学病院 入院棟11階)</p> <p>平成20年岡山大学摂食・嚥下カンファレンス</p> <p>日時: 奇数月の第2木曜日, 19:00~</p> <p>場所: 臨床第一講義室</p>
本年度参加が望ましい学会等	<p>第32回日本プライマリ・ケア学会学術会議</p> <p>日時: 平成21年5月29日 (金) 30日 (土) 31日 (日)</p> <p>会場: 国立京都国際会館</p> <p>第20回日本老年歯科医学会総会・学術大会</p> <p>日時: 平成21年6月19日 (金) ~20日 (土)</p> <p>会場: パシフィコ横浜</p> <p>第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会</p> <p>日時: 平成21年8月28日 (金) ~29日 (土)</p> <p>会場: 名古屋国際会議場</p> <p>第22回日本顎頭蓋機能学会学術大会</p> <p>日時: 2008年9月20日 (土) ~21日 (日)</p> <p>会場: 兵庫県歯科医師会館</p>